

やわらかい藻類の腊葉標本作成の一方法

吉 崎 誠*

M. YOSHIZAKI: A method how to prepare the dried specimens of lubricous algae.

ウミゾウメン、ヒビロウド、フトモズク等のやわらかくてぬるぬるした藻類の腊葉標本を作るには、塩ぬきをした藻体を台紙にのせ、そのまま陰干して乾燥を待つのが一般的な方法である。ところが、誰もが経験したことと思われるが、この方法によると、藻体が糸のように細くなったり、台紙に見苦しいしみができたりすることが多い。また、塩ぬきの足りなかったものや、枝の混み合ったものは、藻体の中心部がなかなか乾燥しないといった不便さがある。こうしてでき上った標本も、生時の藻体と違った感じのものとなることが多い。著者はこれらやわらかくてぬるぬるした藻類の腊葉標本作成の場合に、ビニール布（ポリエチレン布でもよい）を用いて好結果を得ている。ここにその方法を紹介する。

新鮮な藻体ほどよい標本ができる。まず、藻体を真水につけ素早く塩ぬきをして、台紙にのせる。この際、ピンセットや指先で整枝すると藻体が千切れたりつぶれたりしやすい。そこで、筆者はこのような藻類標本の整枝にはのり気をとりのぞいた毛筆を用いている。10～20分間水切り台にのせ、藻体の表面に水滴がなくなったところを見計って標本を吸水紙の上に並べ、次に薄いビニール布をかける。つまり、さらし布の代りにビニール布を使うのである。あとは普通の腊葉標本の作成と同様である。吸水紙によって吸水する。ただ、ここで注意しなければならないことはビニール布は水を通さないもので、吸水は台紙の裏側のみより行なわれる点である。当然のことながら、一般の藻類腊葉標本作成の場合と比較して吸水の効率は低い。したがって台紙は吸水の容易な薄いものがよく、また吸水紙をまめに交換してやるのが肝要である。おもしは最初おし板をのせる程度にし、以後吸水紙を交換することに幾分加圧する。乾燥したらビニール布をていねいにはぎとる。ほとんど生時と同様のみずみずしい腊葉標本を得ることができる。

打ちあげや輸送途中で藻体が弱ったり痛んだりして、フィコエリスリンなどの色素がしみ出しているようなものについては、10%ホルマリン海水で一昼夜固定後、同様の方法を用いると、よい結果が得られる。

ビニール布がない場合には、藻体の上と台紙の上の水滴がなくなり、藻体が生乾きの

* 東邦大学理学部生物学教室

状態になるまで風乾させ、その後これを普通の腊葉標本作成の場合と同じように吸水紙の上に並べ、さらし布をかけてもよい。筆者の経験によると、布は織り目の細かいものほどよい。腊葉に織り目あとをつけたり、布と藻体が密着することが少ないからである。

他の普通の藻類の腊葉をつくる時にも、さらし布のかわりにビニール布、またはポリエチレン布を用いてもよい。特にハネクスダマ、フタツガサネ、ヨツガサネ等の顕微鏡的なものや、台紙よりはさらし布にくっつきやすい藻体の腊葉作成にはよい結果が得られる。これらの小さくて繊細な藻については、塩ぬきをした藻体を台紙にのせ、水切りをせずにビニール布をかけ、台紙とビニール布の間の泡をおい出し、軽く加圧しながら吸水するのがよい。この方法は枝をよく広げ、整枝の役目にもなる。乾燥後ビニール布をはぎとると、フェロ板をかけた写真のようにつやのある美しい腊葉標本ができる。この方法によると、さらし布を用いたときのような乾燥による藻体のいしゅくが少なく、また細胞の形の保存もよいので腊葉標本のまま顕微鏡で藻体の構造をよく観察することができる。

ビニール布のかわりに、セロハン紙を用いたらどうであろうか。筆者が試みた結果では、セロハン紙と藻体が密着しやすく、またセロハン紙と吸水紙がくっついたり、できた標本もしわしわになったり、黄変したりすることが多かった。あまりすすめられない。

ここに述べた方法はやわらかくてぬるぬるした藻類に限ったものではない。一般藻類の腊葉標本の作成に用いてもよい。特に旅先等でさらし布の持ちあわせのないときには、ポリエチレン袋が容易に手に入るのを、これを切り開いて使うと便利である。しかし、ここで注意すべきことはビニールやポリエチレン布は滑りやすいことである。吸水紙をたくさん積み重ねた場合には、くずれないように特に注意が必要である。

千原光雄博士に聞いたところによると、アメリカやカナダでは、さらし布の代りにしばしろう紙 (waxed paper) を使うとのことである (参考文献: TAYLOR, W. R., 1957. *Marine algae of the northeastern coast of North America*; SCAGEL, R. F., 1967. *Guide to common seaweeds of British Columbia*. など)。しかしわが国ではあまり用いないようである。それにしてもビニールやポリエチレン布はろう紙と比べて入手が容易であり、また永く使用に耐えるので便利である。

指導と原稿の校閲をいただいた国立科学博物館の千原光雄博士に感謝申し上げる。